

もっと知ろう “陶”

27、広表は教育の地

広表（ヒロオモテ）とは陽当たりのいい所という意味の地名で、現在の陶コミ辺り一帯の昔の地名です。

明治から昭和にかけて、広表には猿爪の教育施設（小学校、保育園）があり、教育の地でした。

○小学校

猿爪村は宝昌寺にあった求彦（きゅうげん）学校が生徒数の増加で手狭になり明治 10 年、猿爪村広表に猿爪小学校を設立しました。明治 13 年の生徒数は男子 25 名、女子 14 名の 39 名でした。

今年の陶小学校は 86 名ですが、猿爪だけなら同じ 39 名くらいかもしれません。但し、当時の子供は全員が学校へ行っていたわけではないので、現在の陶の子供人口は明治 13 年頃より少ないことになります。

生徒数の増加で、明治 33 年には現在の山田薬局辺りに新校舎が建てられるも、その後も生徒数の増加は続き、大正 8 年にはまたも新校舎が増築されています。

昭和 9 年 猿爪尋常高等小学校は、広表を離れ現在の陶幼稚園のある場所に新校舎を建設、水川尋常小学校と合併し陶尋常高等小学校となりました。

○保育園

田口和太郎（たぐち わたろう…山和陶業社長 典宏さんの祖父）は、地元の陶磁器産業で働く勤労者の足手まといになる子供たちの保育を思い立ち、昭和 9 年私財を投じて広表に保育施設「陶楽園」を創立、昭和 27 年町立保育園に移管するまで園長を勤められました。

◎広表から学校・保育園は離れましたが、陶コミが広表に移転すると公民館によって、再び教育の地 生涯学習の地となりました。

<陶公民館の人気講座>

- ①草木染め
- ②作って味わう世界のパン
- ③キッチンハーブ活用講座

